

(様式第9)

奈医病管第46号
平成20年10月3日

厚生労働大臣　舛添　要一　殿

公立大学法人奈良県立医科大学
理事長　吉岡

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務について報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数 95人 (研修歯科医 6人を含む。)

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	372人	164人	404.6人	看護業務補助	6人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	23人	37人	26.9人	理学療法士	5人	臨床検査技師	72人
薬剤師	44人	4人	46.0人	作業療法士	1人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	検査その他の	0人
助産師	23人	1人	23.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	631人	33人	652.2人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	14人	2人	15.2人	栄養士	2人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	73人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	42人	その他の職員	20人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	757.9人	17.1人	775.1人
1日当たり平均外来患者数	1,769.3人	94.7人	1,864.0人
1日当たり平均調剤数		3,287剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	15人
顎顔面補綴	有・無	1人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	1人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	34人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	32人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	1人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脉肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	3人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	7人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	1人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	15人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	28人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	1人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	(有)・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	20人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジエネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	8人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	5人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

追記分 生体部分肝移植	有・無	1
遺伝性神経疾患患者の遺伝カウンセリング(DNA診断時カウンセリングを除く)	有・無	5

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	27人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	39人
・多発性硬化症	45人	・ウェグナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	46人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	47人
・全身性エリテマトーデス	201人	・多系統萎縮症	22人
・スモン	13人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	42人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	28人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	23人	・原発性胆汁性肝硬変	62人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	159人	・重症急性胰炎	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	58人	・特発性大腿骨頭壞死症	67人
・結節性動脈周囲炎	31人	・混合性結合組織病	21人
・潰瘍性大腸炎	155人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	11人
・ビュルガー病	38人	・網膜色素変性症	4人
・天疱瘡	25人	・プリオント病	2人
・脊髄小脳変性症	69人	・原発性肺高血圧症	7人
・クローン病	46人	・神経線維腫症	16人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	236人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	23人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 60 例 剖検率 15.62 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
睡眠時無呼吸による低酸素ストレスは全身性炎症を惹起し動脈硬化を促進させる	木村 弘	呼吸器・血液内科	6,300 補委	文部科学省
妊娠中の大気汚染曝露は次世代の気管支喘息発症を増加させる	濱田 薫	呼吸器・血液内科	1,800 補委	文部科学省
ヒト肺の力学強度マップ作製の試み—細葉中心型肺気腫の上肺野からの発症機序の解明	友田 恒一	呼吸器・血液内科	1,000 補委	文部科学省
呼吸不全に関する調査研究	木村 弘	呼吸器・血液内科	1,300 補委	厚生労働省
喘息気道リモデリングの及ぼす喫煙の影響	濱田 薫	呼吸器・血液内科	2,000 補委	喫煙財団
喫煙が体重減少をもたらす機序の解明:肺一消化管ネットワークからの探求	吉川 雅則	呼吸器・血液内科	2,000 補委	喫煙財団
胎児期および乳児期の室内大気汚染物質が喘息に及ぼす影響についての検討	木村 弘	呼吸器・血液内科	1,500 補委	住居医学研究奨励金
スモンに関する調査研究	上野 聰	神経内科	700 補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 厚生労働省
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	上野 聰	神経内科	700 補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 厚生労働省
自己貪食空胞性ミオパチーの疾患概念確立とオートファジー機構の解明に関する研究	杉江和馬	神経内科	1,700 補委	平成19年度科学研究費補助金若手研究(B) 文部科学省
抗凝固薬・抗血小板薬の標的およびこれら薬剤を修飾するタンパク質・遺伝子の解析を通じた最適投与量の評価方法の発症機序解明	平野牧人	神経内科	2,860 補委	平成19年度科学研究費補助金基盤研究(c) 文部科学省
抗凝固薬・抗血小板薬の標的およびこれら薬剤を修飾するタンパク質・遺伝子の解析を通じた最適投与量の評価方法の標準化に関する研究	齋藤こずえ	神経内科	800 補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 厚生労働省
脳梗塞急性期から開始する筋萎縮阻止薬療法が慢性期運動機能に与える影響に関する研究	齋藤こずえ	神経内科	300 補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 厚生労働省
肝細胞移植及び肝組織作成治療の実現化にむけた前臨床研究	中島祥介	消化器・総合外科	4,000 補委	文部科学省

小計 14

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小腸移植におけるグラフト腸管の障害・再生機構の解明とその制御	金廣裕道	消化器・総合外科	2,200 補委	文部科学省
肝移植におけるVWF切断酵素の役割と新たな拒絶反応診断マーカーの開発	高 濟峯	消化器・総合外科	900 補委	文部科学省
潰瘍性大腸炎に対する新しい遺伝子デリバリーシステムを用いたBcl-XL遺伝子治療	小山文一	消化器・総合外科	1,600 補委	文部科学省
T細胞不活化制御による新規癌治療法の臨床導入を目的とした発展的研究	庄 雅之	消化器・総合外科	2,200 補委	文部科学省
骨髓幹細胞を用いた腸管構成細胞の再生と炎症性腸管障害粘膜障害に対する治療への応用	向川智英	消化器・総合外科	1,200 補委	文部科学省
脂肪由来幹細胞の肝細胞特異的分化誘導における微小重力環境の影響	山田高嗣	消化器・総合外科	2,200 補委	文部科学省
骨髓間葉系幹細胞を用いた靭帯腱付着部の構造再生に関する研究	高倉義典	整形外科	1,170 補委	日本学術振興会
再生医療技術を用いた血管柄付き移植骨増大の試み	矢島弘嗣	整形外科	2,340 補委	日本学術振興会
再生医療技術を応用した殺細胞処理骨の再活性化に関する実験的研究	田中康仁	整形外科	910 補委	日本学術振興会
大腿骨頭壊死に対する再生医療の応用	川手健次	整形外科	100 補委	日本股関節財団
口腔がんにおける重粒子線療法の基礎的研究	桐田忠昭	口腔外科	4,940 補委	文部科学省
静水圧ストレスによる顎関節滑膜細胞の応答	川上哲司	口腔外科	3,380 補委	文部科学省
顔面の初期発生に関与する分子メカニズムの解明	川上正良	口腔外科	2,600 補委	文部科学省
顎顔面の形態発生に関与するL3/Lhx8遺伝子の機能解析	井上公秀	口腔外科	1,290 補委	文部科学省
DNA多型解析による口腔扁平上皮癌疾患感受性遺伝子の検索	青木久美子	口腔外科	1,820 補委	文部科学省
ヒト間葉系細胞を用いた骨再生での水平旋回培養法による骨誘導能上昇効果の検討	前田雅彦	口腔外科	1,320 補委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発声障害者の音声コミュニケーション手段の研究開発	細井裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	3,510	補委
実環境で最重度難聴者用超音波補聴システムを実現するための基礎的・臨床的研究	細井裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	4,400	補委 文部科学省
頭頸部癌の放射線科学療法における生存シグナル経路を分子標的とした増感効果の検討	家根旦有	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,300	補委 文部科学省
微小振動音源を用いた発声装置の声質改善のための基礎的研究	阪口剛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	2,500	補委 文部科学省
蚊アレルギー患者におけるEBウイルス感染NK細胞増殖症に対する分子標的療法の開発	浅田 秀夫	皮膚科・形成外科	1,300	日本学術振興会 文部科学省
天疱瘡の遺伝的背景	新関 寛徳	皮膚科・形成外科	1,000	補委 厚生労働省
前立腺がんのリスク評価と化学予防	平尾佳彦	泌尿器科	800	補委 文科省科学研究費 補助金
ガンマラクトン化合物を用いた腎障害後の進行を抑制する腎修復再生機構の解明	石橋道男	泌尿器科	2,730	補委 文科省科学研究費 補助金
夜間頻尿の治療法開発を目指したテレメトリー法によるラット膀胱求心性活動の検討	鳥本一匡	泌尿器科	600	補委 文科省科学研究費 補助金
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療の確率に関する研究	平尾佳彦	泌尿器科	700	補委 厚労省科学研究費
臓器移植の社会基盤に向けての研究	吉田克法	泌尿器科		補委 厚労省科学研究費
尿失禁介護用具の研究開発	平尾佳彦	泌尿器科	1,300	中小企業支援センター
エビキタス生体機能計測システムの開発・快適感性評価指標の確立と快適感性評価機器の研究開発	平尾佳彦	泌尿器科	30,628	補委 財団法人関西文化 学術研究都市推進 機構
腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療:瘤径推移に関する因子の検討	吉川公彦	放射線医学	1,800	補委 科研費(基盤研究 C)
肝癌に対する動注療法における薬物動態と血流改変術に関する研究	田中利洋	放射線医学	1,700	補委 科研費(若手研究 B)
肝・胆・脾ならびに骨盤内悪性腫瘍に対する血流動態に応じた血管内治療法の開発に関する研究	阪口 浩	放射線医学	1,000	補委 厚生労働省がん研究助成金分担研究

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝・胆・膵悪性腫瘍に対するIVR治療に関する研究	阪口 浩	放射線医学	1,000	補 委	厚生労働省がん研究助成金分担研究
フォンヴィレブランド因子切断酵素による血栓形成制御に関する研究	西尾健治 福島英賢	救急医学	3,120	補 委	日本学術振興会
(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。				小計 2	
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。				合計 48	

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Toxicol Environ Health A	Exposure of pregnant mice to an air pollutant aerosol increases asthma susceptibility in offspring	Hamada K.	呼吸器・血液内科
Respiration	Effect of serum leptin levels on hypercapnic ventilatory response in obstructive sleep apnea.	Makinodan K.	呼吸器・血液内科
Medical Molecular Morphology	Treatment with chondroitinase ABC alleviates bleomycin-induced pulmonary fibrosis	Kai Y.	呼吸器・血液内科
Adv Exp Med Biol	Post-hypoxic unstable breathing in the C57BL/6J mouse: effects of acetazolamide.	Yamauchi M.	呼吸器・血液内科
J Appl Physiol.	Acetazolamide protects against posthypoxic unstable breathing in the C57BL/6J mouse.	Yamauchi M.	呼吸器・血液内科
Chest	Elevated circulating plasma adiponectin in underweight patients with COPD.	Tomoda K.	呼吸器・血液内科
Ann Neurol	DNA single-strand break repair is impaired in aprataxin-related ataxia.	Hirano M	神経内科
Neurosci Lett	Short half-lives of ataxia-associated aprataxin proteins in neuronal cells.	Hirano M	神経内科
J Neurol, Neurosurg Psychiatry	Peripheral neuropathy in chromosome 16q22.1-linked autosomal dominant cerebellar ataxia.	Furiya Y	神経内科
Eur J Neurol	Extensive neuroimaging of a transient lesion in the splenium of the corpus callosum.	Shimizu H	神経内科
Clin Neurol Neurosurg	Interferon causes no myasthenia in a seropositive patient with multiple sclerosis.	Shimizu H	神経内科
Mov Disord	reatable fluctuating Parkinsonism and dementia in a patient with a dural arteriovenous fistula.	Kajitani M	神経内科
J Neurol Sci	Sympathetic disturbances increase risk of sudden cardiac arrest in sporadic ALS.	Asai H	神経内科
Parkinsonism Relat Disord	Signal changes of superior cerebellar peduncle on fluid-attenuated inversion recovery in progressive supranuclear palsy.	Kataoka H	神経内科
Eur J Neurol	Herpes simplex virus encephalitis with progressive severe white-matter lesions.	Kataoka H	神経内科
J Neuroimaging	Early dynamic SPECT imaging in acute viral encephalitis.	Kataoka H	神経内科

小計 16

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mov Disord	Increased temporal blood flow associated with visual hallucinations in Parkinson's disease with dementia.	Kataoka H	神経内科
Eur J Neurol	Paraneoplastic encephalitis associated with ovarian teratoma and N-methyl-D-aspartate receptor antibodies.	Kataoka H	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Fixed epiglottis associated with subthalamic nucleus stimulation in Parkinson's disease.	Yanase M	神経内科
Clin Neurol Neurosurg	SPECT revealed cortical dysfunction in a patient who had genetically definite megalencephalic leukoencephalopathy with subcortical cysts.	Kiriyama T	神経内科
Neurology	Sign language aphasia due to left occipital lesion in a deaf signer.	Saito K	神経内科
J Neurooncol	Clinical analysis of paraneoplastic encephalitis associated with ovarian teratoma. J Neurooncol	Tonomura Y	神経内科
Spine	Atlantoaxial rotatory subluxation associated with cervical dystonia.	Tonomura Y	神経内科
Clinical Cancer Research	Clinical Significance and Therapeutic Potential of the Programmed Death-1 Pathway in Human Pancreatic Cancer	T.Nomi	消化器・総合外科
natura medicine	Engineering functional two-and three-dimensional liver systems <i>in vivo</i> using hepatic tissue sheets	K.Ohashi	消化器・総合外科
ANTICANCER RESEARCH	Prognostic Significance of Platelet-derived Growth Factor-BB Expressin in Human Esophageal Squamous Cell Carcinomas	S.Matsumoto	消化器・総合外科
Surgery Today	Dudental Atresia Associated with "Apple Peel"Small Bowel Without delection of Fibroblast Growth Factor-10 or Fibroblast Growth Factor Receptor 2IIIb: Report of a Case	Y.Tatekawa	消化器・総合外科
Surgery Today	Multistage Approach for Tracheobronchomalacia Caused by a Chest Deformity in the Setting of Severe Scoliosis	Y.Tatekawa	消化器・総合外科
Pediatr Surg Int	Laparoscopic extirpation of splenic hamartoma	Y.Tatekawa	消化器・総合外科
J Tissue Eng Regen Med	Enhancement of osteoblastic differentiation of mesenchymal stromal cells cultured by selective combination of bone morphogenetic protein-2 (BMP-2) and fibroblast growth factor-2 (FGF-2)	Maegawa N.	整形外科
BMC Musculoskelet Disord	Indications for free vascularized fibular grafting for the treatment of osteonecrosis of the femoral head	Kawate K.	整形外科
日本顎関節学会雑誌	習慣性顎関節前方脱臼に対する Dautrey 手術の経験	井上智裕	口腔外科

小計 16

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本マイクロサージャリー学会会誌	血管柄付き腓骨皮弁による下顎骨再建の検討	大儀和彦	口腔外科
日本マイクロサージャリー学会会誌	下顎再建	桐田忠昭	口腔外科
日本口腔診断学会雑誌	外歯瘻の臨床的検討	松末友美子	口腔外科
歯科薬物療法	Resistant recurrent aphthous stomatitis in an AIDS patient	Morimoto Y	口腔外科
The Japanese Biochemical Society	In vitro Mineralization by Mesenchymal Stem Cells Cultured on Titanium Scaffolds	Maeda M	口腔外科
日本顎顔面インプラント学会誌	共鳴振動周波数解析を用いた上顎骨造成部位におけるインプラント安定性の評価	藤本昌紀	口腔外科
J Oral Pathol Med	An association between the MICA-A5.1 allele and an increased susceptibility to oral squamous cell carcinoma in Japanese patients	Tamaki S,	口腔外科
日本口腔科学会雑誌	口腔水分計を用いた口腔粘膜潤度に関する臨床的検討	玉置盛浩	口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	抗凝固療法施行患者における抜歯に関する臨床的検討	玉置盛浩	口腔外科
Thrombosis and Haemostasis	Successful <i>in vivo</i> propagation of factor IX-producing hepatocytes in mice: Potential for cell based therapy in haemophilia B	Kohei Tatsumi et al	小児科
Blood	Functional imagine of shear-dependent activity of ADAMTS13 in regulating mural thrombus growth under whole blood flow conditions	Yasuaki Shida et al	小児科
The Journal of Biological Chemistry	Mechanisms of Plasmin-catalyzed Inactivation of Factor VIII A CRUCIAL ROLE FOR PROTEOLYTIC CLEAVAGE AT Arg ³³⁶ RESPONSIBLE FOR PLASMIN-CATALYZED FACTOR VIII INACTIVATION*	Keiji Nogami et al	小児科
Japanese Journal of Ophthalmology Vol.51 No.2 Page153-155	Case report of multiple sclerosis in which visual function was evaluated using multifocal visual evoked potentials.	E. Yukawa, Y-J Kim, T. Ueda, Y. Hara	眼科
日本の眼科 78巻5号 Page627-628	屈折は生涯変化する	原嘉昭	眼科
The Journal of Physical Chemistry B Vol.111 No.29 Page8411- 8418	Dynamic Light Scattering Study of Salt Effect on Phase Behavior of Pig Vitreous Body and Its Microscopic Implication.	M. Annaka, M. Okamoto, T. Matsuura, Y. Hara, S. Sasaki	眼科

小計 15

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
あたらしい眼科 24巻7号 Page965-970	脳室腹腔シャント術後に多局所網膜電図および多局所視覚誘発電図測定を行った特発性頭蓋内圧亢進症の1例	湯川英一, 金永進, 新田進人, 原嘉昭	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology Vol.51 No.4 Page301-302	A case of juvenile limbal xanthogranuloma.	T. Nishi, Y. Nawa, N. Nitta, Y. Hara	眼科
臨床眼科 61巻9号 Page1755-1759	各象限で異なる多局所視覚誘発電位を示した視神経炎の1例	湯川英一, 太田麻美子, 上田哲生, 新田進人, 原嘉昭	眼科
臨床眼科 61巻9号 Page1695-1698	透析前後の眼球計測値の変化	大萩豊, 松浦豊明, 岡本全弘, 樋田浩三, 原嘉昭	眼科
臨床眼科 61巻10号 Page1829-1834	1歳以下の両眼先天白内障に眼内レンズを挿入した5例	名和良晃, 丸岡真治, 上田哲生, 小島正嗣, 原嘉昭	眼科
あたらしい眼科 25巻1号 Page119-122	睡眠不足による疲労時の調節機能への影響	樋田浩三, 上田哲生, 原嘉昭, 魚里博	眼科
視覚の科学 29巻1号 Page32-35	Laser in situ Keratomileusis術前後の各種検査法による屈折値の比較検討	川尾美樹, 名和良晃, 上田哲生, 樋田浩三, 原嘉昭, 魚里博	眼科
Pathobiology	DNA hypermethylation status of multiple genes in papillary thyroid carcinomas.	Yane K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
American Journal of Pathology	c-Jun NH ₂ terminal kinase activation and decreased expression of mitogen-activated protein kinase phosphatase-1 play important roles in invasion and angiogenesis of urothelial carcinomas.	Ota I.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
Cancer Res	Gene expression analysis of preinvasive and invasive cervical squamous cell carcinomas identifies HOXC10 as a key mediator of invasion.	Ota I.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
日本皮膚科学会誌	基底細胞母斑症候群に生じたinfundibulocystic basal cell carcinomaの1例	福本隆也	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	甘草誘発性偽アルドステロン症をきたしたアトピー性皮膚炎の1例	井本恭子	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	間質性肺炎を伴ったamyopathic dermatotostitisの1例	北村華奈	皮膚科・形成外科
Cancer	A role for connexin 26 in metastasis of human malignant melanoma: Communication between melanoma and endothelial cells via connexin 26	Saito-Katsuragi M	皮膚科・形成外科
アレルギーの臨床	蚊アレルギー(蚊刺過敏症)	浅田秀夫	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群に合併した尋常性乾癬の一例	飯田秀之	皮膚科・形成外科

小計 16

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本皮膚科学会誌	EBウイルスと皮膚疾患	浅田秀夫	皮膚科・形成外科
奈透析会誌	奈良県における慢性透析患者の現況—2005年末の統計的観察—	吉田克法	泌尿器科・透析部
腎泌予防医誌	健常人を対象にした大豆蛋白摂取量と血中・尿中濃度の世代間調査	田中雅博	泌尿器科
Acta Urol Jpn	Prostatic volume and volume-adjusted prostate-specific antigen as predictive parameters for T1c prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
J Reproductive Systems	Endocrine response to a single injection of goserelin 3.6mg or leuprolide 3.75 mg in men with prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
J Reproductive Systems	Endocrine response to a single injection of goserelin 3.6 mg or leuprolide 3.75 mg in men with prostate cancer.	N Tanaka	泌尿器科
Acta Urol Jpn	Prostatic volume and volume-adjusted prostate-specific antigen as predictive parameters for T1c prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
Int J Urol	Tissue levels of pyrimidine nucleoside phosphorylase activity in human and rodent bladder cancer and normal bladder tissue	K Fujimoto	泌尿器科
J Microwave Surg	前立腺肥大症に対するマイクロ波による経直腸的前立腺超音波ガイド下経会陰的前立腺焼灼術の検討	平山暁秀	泌尿器科
Biochem Biophys Res Commun	Sensitive detection of FGFR3 mutations in bladder cancer and urine sediments by peptide nucleic acid-mediated real-time PCR clamping	N Miyake	泌尿器科
日泌会誌	前立腺癌病期診断における画像検査の有用性の検討—不要なCT、骨シンチグラフィを省略する指標の作成—	松村善昭	泌尿器科
Pathobiol	Anti-tumor effects of liposome-encapsulated titanium dioxide in nude mice	Y Chihara	泌尿器科
腎移植・血管外科	奈良県立医科大学における腎移植後死亡症例の検討	米田龍生	泌尿器科
Audio-Visual Journal of JUA	光力学的診断システムを用いた蛍光膀胱鏡下TURBT	藤本清秀	泌尿器科
J. Endovasc Ther	Deteriorationg Consumptive Coagulopathy with Type II Endolek Following Endovasclar Repair for Abdominal Aortic Aneurysm Associated with Liver Cirrhosis	Wataru Higashiura	放射線科
JVIR	Predictive Fachors, Morphologic Effects, and Proposed treatment Paradigm for Type II Endoleaks after repair of Infrarenal Abdominal Aortic Aneurysma	Wataru Higashiura	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
AJR	Arterial Infusion of 5-Fluorouracil Combined with Concurrent Radiotherapy for Unresectable Pancreatic Cancer:Results from a Pilot Study	Toshihiro Tanaka	放射線科
Ann Clin Biochem	SurveyorTM nuclease-based detection of p53 gene mutations in hematological malignancy	MitaniN	中央臨床検査部
移植	生体腎移植ドナーの適応 一病腎移植問題を含む一	吉田克法	透析部
成人病と生活習慣病	医療従事者が考える移植と人工臓器	吉田克法	透析部
			小計 4

合計 83

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの を記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 柚 壽右
管理担当者氏名	医療サービス課長 南浦 健、 病院管理課長 上浦 豊

診療に関する諸記録		保管場所	分類方法
病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		外来カルテ庫、入院カルテ庫、薬剤部、中央放射線部、電子カルテ	個々の患者の諸記録は、カルテとともに整理し一括保管。 エックス線写真は、中央放射線部で一括保管。 諸記録、エックス線写真とも、あわせて電子カルテにも保存。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課 病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療の研修の実績	各診療部	
	閲覧実績	医療サービス課 病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
	専任の医療に係る安全管理を行なう者の配置状況	様式13-2 のとおり	
	専任の院内感染対策を行なう者の配置状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	様式13-2 のとおり	
確規 保則 の第 状9 況條 の2 及 3 及 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	様式13-2 のとおり	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	様式13-2 のとおり	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医療サービス課長 南浦 健
閲覧担当者氏名	医療サービス課課長補佐 西村 和也、病院管理課課長補佐 北村好伸
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課事務室、病院管理課事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 件
	地 方 公 共 団 体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	6 9 . 7 %	算 定 期 間	平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			1 5 , 4 0 9 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			9 , 5 3 5 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			2 , 5 7 4 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			2 9 , 9 5 5 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をDとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) 2名・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) 1名・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) 無
・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（3）名 ・ 活動の主な内容： 別添のとおり	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) 無
・ 指針の主な内容：別添のとおり	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容：別添のとおり	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年17回
・ 研修の主な内容：別添のとおり	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善の方策の主な内容：	(有) 無 別添のとおり

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容 :	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年　回
・ 活動の主な内容 :	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年　回
・ 研修の主な内容 :	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備	(有・無)
・ その他の改善のための方策の主な内容 :	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	最低年2回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：「眠剤服用による転倒・転落」9/25 「麻薬の取扱いについて」2/27 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 (有)・無 手順書は平成19年7月に作成し20年7月に改訂し医療安全管理委員会の承認を得た。電子カルテで閲覧可とした。 業務の主な内容： 薬剤師が各科外来・病棟等を巡回し手順書に記載されている項目が遵守できているかチェックリストにより確認・記録している。 薬剤部内についても、チェックリストに基づき確認・記録している。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無 製薬会社・インターネット等により収集し、電子カルテにより情報を周知している。 その他の改善の方策の主な内容： 薬剤部：医薬品の調剤時取り違いを防止するため「取り揃えリスト」を導入し使用の徹底を強化した。さらにハイリスク薬等については携帯端末(PDA)を導入した。 	
<p>病院：①薬剤の投与患者間違いを防止するため「患者誤認防止ポスター」を作成したり患者認証を徹底した。</p> <p>②先発医薬品から後発医薬品に切り替える時、危険性の高いものについては特に注意が必要なものとして周知するようにした（例：エフオーワイ注からレミナロン注） 周知徹底にはニュースレターを利用している。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：「安全な医療機器の取扱いについて（パルスオキシメータ・心電図）」7/25「安全な医療機器の取扱いについて（人工呼吸器Part1）」8/25「安全な医療機器の取扱いについて（人工呼吸器Part2）」1/26	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有) 無保守点検の主な内容： 人工心肺装置、人工呼吸器、血液浄化装置、助細動装置、閉鎖式保育器 診療用高エネルギー装置、（麻酔器、電気メス）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有) 無その他の改善の方策の主な内容： メーカーから供給される情報につき、該当機器の有無の確認と該当機器を保有している部署への情報提供を行っている。

安全管理体制の確保状況調書

【病院名：奈良県立医科大学附属病院】

1. 医療の安全の確保について

(1) 医療に係わる安全管理のための指針

※該当項目を■にて表示すること (以下同様)

① 指針の整備等の状況	平成 14年 10月 1日 策定				
指針の変更（改正）を行っているか。 (前回の検査以降分)		<input checked="" type="checkbox"/> 有 (平成 19年9月1日 全部) • <input type="radio"/> 一部 改正 <input type="checkbox"/> 無			
		【改正した内容】 2 医療安全管理に関する基本的な考え方 (1) 医療事故の現状認識・・項目の削除 8 医療事故の公表・・全面的書き換え 9 その他 (1) 医療従事者と患者との間の情報の共有・・項目の追加 9 その他 (2) 本指針の閲覧・・項目の追加 「医療安全管理体制」・・一部変更、医療安全管理委員会委員の追加			
		医療に係る安全管理のための委員会での変更(改正)承認日		平成 19年 10月 2日	
② 必要に応じて整備することが望ましい事項の状況	<input type="checkbox"/> 部門毎のマニュアル (該当の場合は部門名を別紙にて添付) <input checked="" type="checkbox"/> 診療行為別マニュアル <input type="checkbox"/> 部門別・診療行為別マニュアル <input checked="" type="checkbox"/> マニュアルのオンライン化				
		【直近一年の内容等の整合性、見直しの実施状況及び今後の計画】 ・「採血・注射（血管外漏出時の対応）」の内容改正 ・「医薬品の安全使用のための業務手順書」の改訂 ・「指針」・「規程」等の改正 (今後の計画) ・「医療機器安全管理規程」の追加			
③	【全体版マニュアル等の作成】 <input type="checkbox"/> 全員配布 <input checked="" type="checkbox"/> 各部署に配布 <input type="checkbox"/> 幹部のみ <input type="checkbox"/> 無				
	【携帯版マニュアル等の作成】 <input type="checkbox"/> 全員配布 <input type="checkbox"/> 各部署に配布 <input type="checkbox"/> 幹部のみ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
	【その他の方法による周知】 ・リスクマネージャー会議において、改正概要の説明 ・電子カルテ上の医療安全HPに全体版マニュアルを掲載。各医療者が容易に参照できる。 (そのため、携帯版マニュアルの作成は不要としている。)				
その他	<input type="checkbox"/> 周知状況等の把握・検証(各部署及び安全管理を行う部門等の状況) (※指針に限らず医療安全情報を含む)				
	リスクマネージャー会議での議題を、リスクマネージャーが各所属での部署内ミーティング時に周知する。その実施概要をリスクマネージャー活動報告書の提出により把握している。 その他、院内ラウンドや医療安全認識度チェックなどにより、職員に周知されているか検証を行っている。				
の	<input type="checkbox"/> 院内の相互チェック <input checked="" type="checkbox"/> 自己チェック <input type="checkbox"/> その他 ()				
他	イ) その他 (今後の取組・見直し等)				
	全般的に必要に応じて、見直し改正を行っていく。 その周知状況についても、院内ラウンド、自己チェックなどを定期的に実施し、検証していく。				

(2) 医療に係わる安全管理のための委員会

① 委員会の設置状況	名 称	医療安全管理委員会				
	設 置	平成 6 年 9 月 日 設置 (平成 20 年 8 月 6 日 変更)				
② 管理および運営に関する規程（委員会規程）の整備状況	委員会規程の変更を行っているか。 (前回調査以降分)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (平成 20 年 8 月 6 日 改正) <input type="checkbox"/> 無				
		【改正した内容】 • 第 1 章総則の追加 • 第 2 章医療安全管理委員会の一部改正 • 第 3 章医療事故調査委員会の一部改正				
③ 委員会の構成員等	委 員 長	岡本 康幸	委 員 数	15 人		
	委員名簿	(別紙「委員名簿（※職名のみの記載で可）を添付)				
④ 委員会の開催状況	定 例 会	毎月	・ 1 回開催	前年度開催実績 12 回		
	議 事 彙 の 整 備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	委 員 の 出席 状 況	直近の開催日 出席委員数	平成 20 年 9 月 2 日 開催 10 人 / 15 人 中			
	欠席した委員への伝達状況		医療安全推進室員が委員会資料を配付（必要に応じて安全管理者より重要事項を報告）			
⑤ 医療事故の原因調査等のための委員会の設置状況	委員会の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (平成 16 年 8 月設置) <input type="checkbox"/> 無				
	委 員 会 の 名 称					
	規 程 の 整 備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (平成 16 年 8 月設置) <input type="checkbox"/> 無				
	安 全 管 理 委 員 会 と の 関 係	併置（事故調査委員会での原因究明の結果を受けて安全管理委員会で再発防止策の検討を行う）				
	医療事故発生時の対応手順等の作成状況	• 医療安全管理指針内で明記（別添参照） • 医療安全管理マニュアル 総論 内で明記				

(3) 医療に係る安全管理のための職員研修（全職員を対象とした研修）

① 医療機関全体に共通する全職員を対象とした研修の開催状況	前年度の開催実績	(合計)	17回		
	参加延職員数等	延 2,938人 (職員数 1,257人) [職員一人当たり 2.3回/年]			
② 記録整備	<input checked="" type="checkbox"/> 開催案内 <input checked="" type="checkbox"/> 研修内容 <input checked="" type="checkbox"/> 出席者名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 出席者集計 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間計画を作成 <input type="checkbox"/> 半年ごとに策定 <input type="checkbox"/> その他 ()				
③ 研修計画	計画を策定する組織等	医療安全推進室			
	今年度の実施計画	17回 (うち実施済: 9回) (予定: 8回)			
④ 実施した(計画している)研修内容	前年度実績	4/25「医療安全管理活動について」 5/25「ホテルとドレーン～安全管理の観点から～」 6/25「法廷から見るかげと説明義務の判例の動向～裁判官はここを見ている～」 7/25「中心ホテル挿入に関する安全管理」 8/24「BLS(一次救命処置)とAED(自動体外式除細動器)について」「除細動装置(DC)について」等			
	今年度計画 (実績)	4/10～25 6/16～27 BLS・AED訓練 4/25「医療安全管理活動について」 5/26, 29「感染症セミナー・MR室入室時の注意」 6/25「一般人のリスク認知」 7/25「安全な医療機器の取扱い(パルスオキシメータ・心電図)」 8/25「安全な医療機器の取扱い(人工呼吸器)」 9/1～12 気管内挿管の介助 9/25「眠剤服用による転倒・転落」 今年度参加延職員数 1,725人			
ア) 開催についての職員への周知方法	リスクマネージャー会議での周知。ニュースレターでの周知。所属長、リスクマネージャーへ開催案内の送付と参加働きかけを依頼。医療安全HPの掲示板に掲載。開催直前に院内放送。				
	イ) 職員からの研修内容等に関する意見・要望等の聴取の実施				
⑤ ウ) 研修への参加状況確認(参加者の把握)の実施等	アンケートの実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない		
	【アンケート以外で実施している方法】 医療安全推進室で随時対応				
その他	出席者名簿の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない		
	【出席者名簿以外の方法】 研修参加者に受講シールを配布(名札に受講シールを貼る)				
エ) 新規採用医師・研修医・看護師を対象とする研修の実施状況	【参加を促すための具体的方策(恒常的欠席者の把握方法や対策)】 ・リスクマネージャーに各所属欠席者名簿を配布し、参加を促す。 ・医療安全管理委員会、病院運営協議会で、各所属の出席状況資料を配付。				
	【研修会の欠席者に対する伝達講習等の周知方法】 ・各リスクマネージャーに研修資料を配付し、部署内ミーティング等で伝達講習の開催を依頼している。 ・研修会の録画ビデオ・研修に使用したDVD等の貸出。				
オ) その他	新規採用医師	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない		
	【内容及び参加状況】 「新採用・異動職員医療安全管理研修会」4/7 9時～15時半 ・医療安全管理体制 ・情報伝達と確認 ・処方・与薬 ・ホテル・ドレーン類 ・医療機器 ・転倒・転落 ・廃棄物の処理 ・医療機器 ・電気設備 ・事故発生時の対応 (35 名中 33名参加)				
	研修医	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない		
	【内容及び参加状況】 同上 (49 名中 47名参加)				
	看護師	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない		
	【内容及び参加状況】 同上 (70名中70名参加)				
・医療安全研修を毎月開催するほか、特定月には同じ内容の研修を複数回開催することで、多数の受講を促進している。					

(4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策

平成14年10月 1日 施行															
① 報告制度に関する規程等の整備 容	<p>① 委員会等への報告ルート ② 収集する報告の事例（合併症への対応等） ③ 報告時期 ④ 医療機能評価機構への報告 ⑤ 時間外等の報告手順</p> <p>※上記①～⑤について、規程等の該当部分に下線を付し、それぞれの該当番号を記入すること。</p>														
② 病院内における安全管理に関する問題点の把握・分析を通じた病院組織としての改善策の検討（各部署及び安全管理を行う部門等の状況）	<p>インシデント発生→RM又は所属責任者へ報告→RMは、患者への影響度、患者の反応、合併症の有無などを勘案し、緊急報告の必要性を判断→インシデント・アクシデント状況報告書の作成→医療安全推進室で報告受理（重大事故は院長・医療安全管理委員長に随時報告）→分析・対策検討チーム会で要因分析・対策案作成→RM会議で対策案に対する意見収集→医療安全管理委員会で対策案を審議・承認→病院運営協議会で医療安全管理委員会での審議結果報告→医療安全推進室が中心となり改善策を実施推進→RM会議、医療安全推進室HP及び医療安全ニュースレターで改善策の周知→各RMが各所属内のミーティングで改善策を周知→改善策の実施→各RMは、所属内ミーティングの開催状況等をRM報告書により医療安全推進室に報告→医療安全推進室により医療安全認識度チェック、院内ラウンドなどで改善策の実施状況を検証→医療安全推進室から医療安全管理委員会、病院運営協議会へ医療安全に関する状況報告。</p>														
③ 医療事故等の発生報告書（アクシデント・インシデント報告書等）の提出状況	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成19年度</td> <td>イン 2,645件（うち、医師の報告件数 106件） （うち、臨床研修医の報告件数 20件） アク 9件（うち、医師の報告件数 4件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>イン 2,182件（うち、医師の報告件数 69件） （うち、臨床研修医の報告件数 3件） アク 8件（うち、医師の報告件数 2件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>イン 2,699件（うち、医師の報告件数 95件） （うち、臨床研修医の報告件数 7件） アク 14件（うち、医師の報告件数 6件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）</td> </tr> <tr> <td>平成 20 年 6月（ 276 件） 7月（ 246 件） 8月（ 252 件）</td> <td>【最近3箇月の状況】 今年度累計件数 (1,251 件)</td> </tr> <tr> <td>報告の電子化</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>報告制度についての職員等への周知状況等（各部署及び安全管理を行う部門等の状況）</td> <td> <p>【部署別の提出状況と周知状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー会議での周知 ・部署内ミーティングにおけるリスクマネージャーから職員への周知 ・医療安全ニュースレターによる周知 ・医療安全管理研修による周知 </td> </tr> <tr> <td>④ その他（今後の取組等）</td> <td> <p>医療機能評価機構への報告件数： 前年度 9件 今年度（直前まで） 2件</p> <p>報告制度を当然の業務として全職員に認識させ、各所属に対し報告内容及び結果がフィードバックしやすいシステムを構築する。</p> </td></tr> </tbody> </table>	平成19年度	イン 2,645件（うち、医師の報告件数 106件） （うち、臨床研修医の報告件数 20件） アク 9件（うち、医師の報告件数 4件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）	平成18年度	イン 2,182件（うち、医師の報告件数 69件） （うち、臨床研修医の報告件数 3件） アク 8件（うち、医師の報告件数 2件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）	平成17年度	イン 2,699件（うち、医師の報告件数 95件） （うち、臨床研修医の報告件数 7件） アク 14件（うち、医師の報告件数 6件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）	平成 20 年 6月（ 276 件） 7月（ 246 件） 8月（ 252 件）	【最近3箇月の状況】 今年度累計件数 (1,251 件)	報告の電子化	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	報告制度についての職員等への周知状況等（各部署及び安全管理を行う部門等の状況）	<p>【部署別の提出状況と周知状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー会議での周知 ・部署内ミーティングにおけるリスクマネージャーから職員への周知 ・医療安全ニュースレターによる周知 ・医療安全管理研修による周知 	④ その他（今後の取組等）	<p>医療機能評価機構への報告件数： 前年度 9件 今年度（直前まで） 2件</p> <p>報告制度を当然の業務として全職員に認識させ、各所属に対し報告内容及び結果がフィードバックしやすいシステムを構築する。</p>
平成19年度	イン 2,645件（うち、医師の報告件数 106件） （うち、臨床研修医の報告件数 20件） アク 9件（うち、医師の報告件数 4件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）														
平成18年度	イン 2,182件（うち、医師の報告件数 69件） （うち、臨床研修医の報告件数 3件） アク 8件（うち、医師の報告件数 2件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）														
平成17年度	イン 2,699件（うち、医師の報告件数 95件） （うち、臨床研修医の報告件数 7件） アク 14件（うち、医師の報告件数 6件） （うち、臨床研修医の報告件数 0件）														
平成 20 年 6月（ 276 件） 7月（ 246 件） 8月（ 252 件）	【最近3箇月の状況】 今年度累計件数 (1,251 件)														
報告の電子化	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無														
報告制度についての職員等への周知状況等（各部署及び安全管理を行う部門等の状況）	<p>【部署別の提出状況と周知状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー会議での周知 ・部署内ミーティングにおけるリスクマネージャーから職員への周知 ・医療安全ニュースレターによる周知 ・医療安全管理研修による周知 														
④ その他（今後の取組等）	<p>医療機能評価機構への報告件数： 前年度 9件 今年度（直前まで） 2件</p> <p>報告制度を当然の業務として全職員に認識させ、各所属に対し報告内容及び結果がフィードバックしやすいシステムを構築する。</p>														

(5) 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置

① 配置状況	配 置 年 月 日	平成 15年 4月 1日 (当初) 平成 20年 4月 1日 (現職)
	所 属 部 門 ・ 部 署	中央部門・医療安全推進室
	職 名 ・ 氏 名	(職名) 室長補佐・安全管理者 (氏名) 米澤 友子
	有 す る 資 格	<input type="checkbox"/> 医 師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 薬 剤 師 <input checked="" type="checkbox"/> 看 護 師
② 医療安全に関する必要な知識の修得状況	【取得のために受講した研修等(研修名、期間、主催者名を記載)】 H20.5/14~16 国公私立大学附属病院リスクマネージャー研修 文部科学省 大阪大学附属病院中央クリティカルマネジメント部 H20.7/4. 12・30 8/22・28 医療安全管理者研修 奈良県・奈良県病院協会主催 H20.8. 10~12 医療安全教育セミナー2008夏期 国際予防医学リスクマネジメント連盟 H20. 9. 16~19、 10. 22~10. 24 H20年度医療安全管理者養成研修 社団法人日本看護協会	
③ 安全管理委員会への参加	参 加 に つ い て の 規 定 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
④ 従事している業務内容	・医療事故の防止に関する業務 ・重大な、又は部門を横断する医療事故発生後の対応と調整等に関する業務 ・医療安全に関する教育・啓発等に関する業務	
⑤ その他		

(6) 医療に係る安全管理を行う部門

① 設置状況	設 置 年 月 日	平成 15年 4月 1日
	部 門 の 名 称	医療安全推進室
	組織上の位置づけ	附属病院 中央部門
	構 成 員	職 名 (部門の長) 室長(統括安全管理者・中央臨床検査部長)岡本康幸 (<input type="checkbox"/> 専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任) (構成員) 室長補佐(安全管理者・看護副部長)米澤 友子 (<input checked="" type="checkbox"/> 専任・ <input type="checkbox"/> 兼任) 副安全管理者(集中治療部助教)河野安宣 (<input type="checkbox"/> 専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任) 副安全管理者(薬剤部係長)小南 清司 (<input type="checkbox"/> 専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任) 副安全管理者(看護師長)堀口陽子 (<input type="checkbox"/> 専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任) 曜託 川野眞実子 (<input checked="" type="checkbox"/> 専任・ <input type="checkbox"/> 兼任) 専任者 2名 兼任者 4名 計 6名
	組織規約等	平成 15年 4月 1日 施行 平成 20年 2月 27日 改正
② 担当する業務内容	【平成14年10月7日付医政局長通知(特定機能病院における安全管理のための体制の確保)に定められた業務以外に行っている業務】 該当なし	
③ 組織横断的な活動の実績	・病院全部署のリスクマネージャーが参加するリスクマネージャー会議を毎月開催し、組織横断的な医療安全に関する検討、実施及び周知活動を行っている。	